

木村容齋 きむら きつざい 舊高田藩儒。天保五年四月一日越後國中頸城郡上小

野村生礼、明治二十一年二月十六日歿（八二西一八）。諱温、字士良、

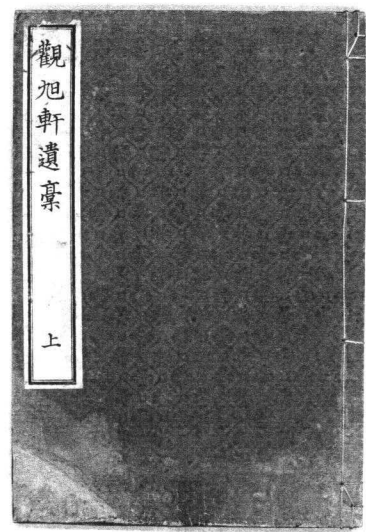
通稱一（市）太郎。初の井部香山の師事、同門の中村敬宇が有力。昌

平坂學問所に入り、また古賀洞庵、安積良齋やすひらの學ぶ。萬延元年歸郷し

て格知塾かくちじゆを開き、子弟を教授。明治二年藩費修道館教官、五年廢館の

より家塾を復す。十年高田中學校漢學科教官となり歿年不及ぶ。

『觀旭軒遺藁』全二冊（明治二十四年二月）二十四日博文館、がある。



觀旭軒遺藁

上